

カルテット
奈良県産スギ弦楽器四重奏初披露♪

木材利用課 岩本 頼子

奈良県森林技術センターでは、平成27年度から「県産スギ材によるバイオリン開発プロジェクト会議」を立ち上げ、スギバイオリンを開発してきました。平成29年1月に1挺目、翌年3月に2挺目のスギバイオリンが完成、そして、今年の3月、3挺目のスギバイオリンと、スギビオラ、スギチェロが完成し（写真1）、ついに、スギ弦楽器四重奏が実現することとなりました。

令和元年5月25日（土）、ムジークフェストなら2019ガラ・コンサートにおいて、『大阪フィルハーモニー交響楽団 ブルーメンカルテットによる吉野杉の調べ』と題した初披露演奏会が、橿原文化会館で行われ、チケットは完売、300名もの方々にお越しいただきました。

ブルーメンカルテットの皆様には、出来たての楽器を弾きならずところからご協力いただき、演奏会では、クラシックから親しみやすいポップス音楽まで、全18曲を演奏いただきました（写真2）。

木は二度生きると言います。樹齢250年を超えるスギ材が楽器に生まれ変わって奏でられた調べは、会場に広く響き渡り、演奏が終わるたびに大きな拍手がわき起こりました。

演奏会に併せて、会場入口付近に、楽器の概要、製作過程を紹介するポスター展示を行うとともに、演奏後には楽器の実物を展示しました。熱心に見学される方が多く、楽器そのものにも興味を持って参加されている様子が見受けられました（写真3）。

これらの楽器は、今後も各種イベント、演奏会等で披露していきたいと考えておりますので、次の機会には是非、吉野杉の調べを愉しんでみてください。



写真1 完成したスギ弦楽器



写真2 スギ弦楽器四重奏初披露



写真3 展示会場の様子